

令和9年度事業計画策定に向けた 意見聴取について



令和8年10月20日
全国健康保険協会大支部

目次

INDEX

I	支部戦略プラン・支部事業計画の概要およびスケジュール	3
II	支部戦略予算の概要	6
III	令和9年度事業内容の検討について	12

I 支部戦略プラン・支部事業計画の スケジュール

1. 令和9年度 事業計画及び支部戦略予算の策定にあたって

●「戦略的保険者機能の更なる強化」を着実に実施していくためには、支部の課題を解決する必要があることから、支部において医療費や健診情報等を用いた分析を行い、そこから見えてくる課題を解決するための事業を実施してきました。

●また令和9年度から、中期戦略プラン（2027～2029（令和9～11）年度）をベースに、各支部の地域特性や健康課題を反映させた支部戦略プランについて「支部健康づくり戦略」を基軸とし、3年間の計画をたてることとなりました。

●本日は、健康づくり戦略について、これまでの取り組み状況及び令和8年度の医療費分析等を踏まえながら令和9年度の事業の方向性を示させていただき、令和9年度に事業を行ううえでの改善点等がないか、評議員の皆様からのご意見やアドバイスをいただきたいと思います。

【事前の意見聴取】

●本日いただいたご意見・アドバイスを踏まえ令和9年度の事業計画（案）及び支部戦略予算（案）の策定を行い、改めて1月評議会において審議させていただく予定としております。

2. 支部戦略プラン・支部事業計画のスケジュール

支部戦略プランおよび支部事業計画・予算の策定に向けた全体スケジュールは以下の通りです。

時期	タスク
令和8年 10月	【支部】評議会終了後、 支部戦略プラン全体の支部内議論開始
11月	【本部】令和9年度における協会全体の事業計画案・予算の支部別予算枠の提示 【支部】令和9年度 支部事業計画・予算の策定開始
12月	【支部】支部戦略プラン全体、令和9年度支部事業計画・予算、第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）中間評価・見直しの報告
令和9年 1月	【本部】予算ヒアリングの実施（全支部対象） 【支部】 ・評議会に以下の点を付議 ①支部戦略プラン ②令和9年度支部事業計画・予算 ・支部戦略プランの支部内議論結果を報告
2月	【本部】令和9年度支部事業計画・予算の内示
3月	【支部】評議会に以下の点を報告※3月中に評議会の開催を予定していない場合は、適宜（速やかに）評議員へ報告する） ①（修正がある場合）支部戦略プラン ②本部協議後の令和9年度支部事業計画・予算 【本部】令和9年度支部予算実施計画の通知（厚生労働大臣予算認可後）

Ⅱ 支部戦略予算の概要

1. 支部戦略予算の概要

これまでの「支部保険者機能強化予算」は、支部戦略（主に健康づくり戦略）の実現を図るため、「支部戦略予算」に名称を変更し、地域の実情に応じた取組を意欲的に実施できるよう内容を見直します。

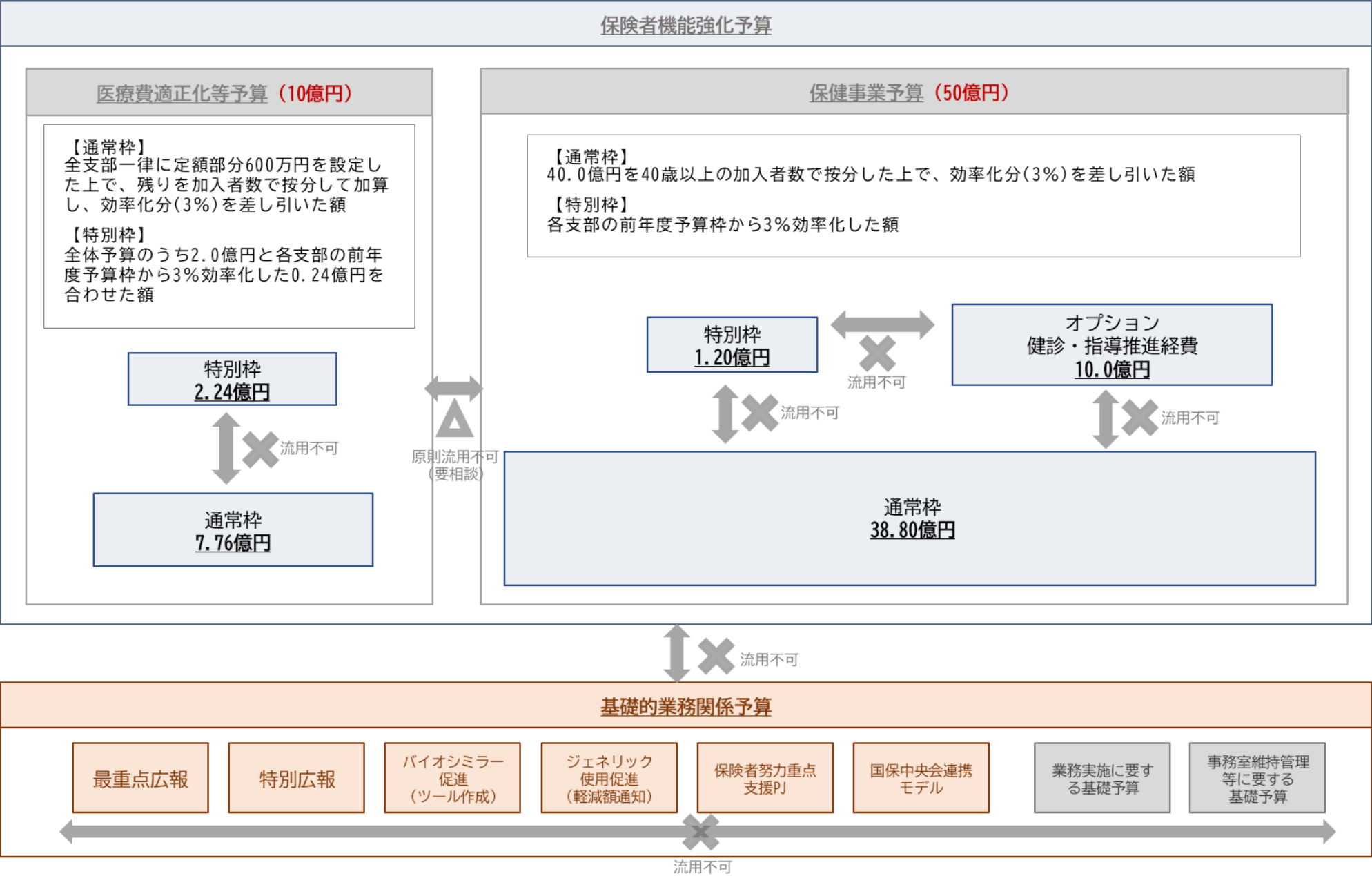
1. これまでの「医療費適正化等予算」と「保健事業予算」の垣根をなくし統合します。
2. 以下の2つに区分します。なお、特別枠は廃止します。

支部**重点**課題解決事業…支部の裁量で実施する支部独自の課題解決に向けた事業（広報を含む）を実施する場合の予算。少なくとも1事業ずつ医療費適正化事業、保健事業を計画のうえ予算要求する取扱いとします。

共通課題対応等事業…すべて（又は大部分）の支部が毎年実施する事業の予算（本部方針等により全支部が共通して実施する事業等）

3. その上で、現行の支部保険者機能強化予算を各事業の性質に応じて「支部重点課題解決事業」「共通課題対応等事業」「基礎的業務関係予算」に振り分けます。
4. 総額は60億円とし、その範囲内で見直し後の予算区分へ配分します。各支部の予算枠は現行の上限額を維持することを前提とし、基準額を設定します。ただし、基準額を超える申請も可能とします。また、年度途中も申請可能とし、その場合は追加交付します。
5. 基準額を設定するのは「支部重点課題解決事業」のみとし、「共通課題対応等事業」「基礎的業務関係予算」は支部からの要求額を交付しますが、過剰な要求にならないよう一定のルールを設けます。
6. 複数支部で合同事業を実施する場合は、各支部の必要経費を代表支部へ交付します。

2. 予算体系図（～令和 8 年度）



3. 令和8年度支部保険者機能強化予算について（現状）

● 令和8年度の支部保険者機能強化予算体系及び各事業における計上額は以下のとおり

1. 医療費適正化等予算

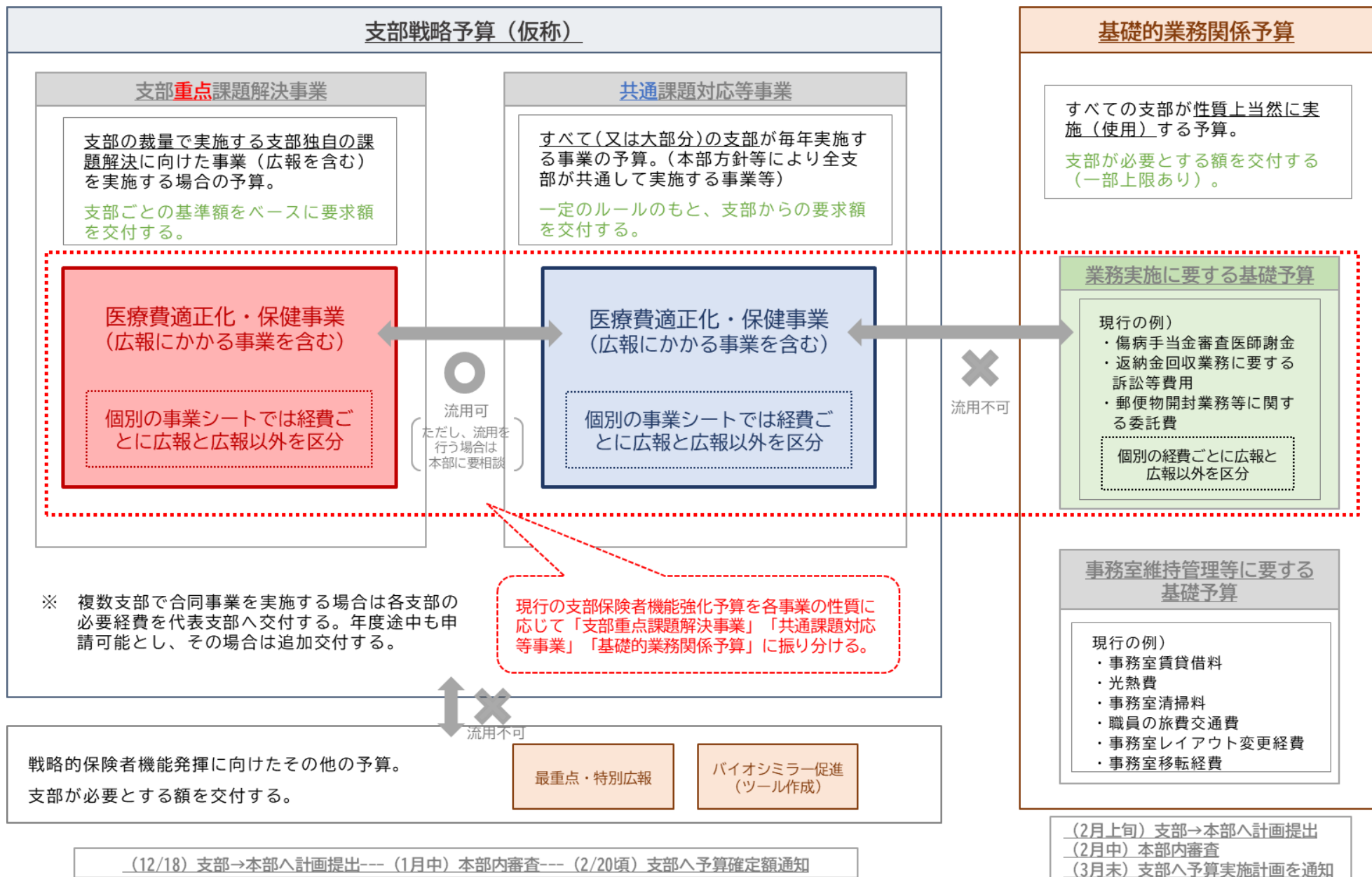
2. 保健事業予算

単位：円

(千円未満切り上げ)		
-	事業名	令和8年度 予算
医療費適正化対策経費	若年層における健康教育	3,408,000
	社会保険事務説明会の開催	
	新生児の保護者に対する適正受診啓発冊子配布	
	大分トリニータのマッチデー広告(情報誌)における記事掲載及びジェネリック医薬品に関する広報物の作成	
広報・意見発信経費	電子及び紙媒体による広報	6,713,000
		10,121,000

(千円未満切り上げ)			
-	事業区分	主な事業	令和8年度 予算
健診・保健指導・重症化予防	健診経費	①協会主催の集団健診 ②事業者健診結果データ取得勧奨委託業務 ③事業所及び被保険者への健診受診勧奨業務	19,972,000
	保健指導経費	保健指導推進経費	260,000
	重症化予防経費	未治療者に対する受診勧奨	7,747,000
コラボヘルス・喫煙糖尿病対策・その他	コラボヘルス	一社一健康宣言事業の展開	13,329,000
	その他	学齢期における健康教育の推進	1,620,000
			42,928,000

4. 予算体系図（令和9年度～）



5. 令和9年度 支部戦略予算 区分見直し案

分野	区分①	区分②	現行の定型・課題の区分	見直し後の区分
医療費経費適正化対策	企画部門関係	—	定型・課題	共通
				重点
	業務部門関係	—	課題	重点
広報経費見直し	広報意見発信経費		定型・課題	共通
				重点

1. これまで「定型・課題」と区分していたものを事業の性質に応じて「重点・共通・基礎」の区分に見直します。
2. このうち、「重点」事業は支部ごとに基準額を示します。支部におかれてはこの基準額をベースに計画策定をしていただきますが、支部の課題解決にかかる事業を実施するにあたり、基準額の予算で不足が見込まれる場合は、これを超える申請も可とします。

分野	区分①	区分②	現行の定型・課題の区分	見直し後の区分
健診経費	治療中の者の検査結果情報提供料	—	定型	共通
	健診予定者名簿送料	—	定型	基礎
	健診実施機関実地指導旅費	—	定型	基礎
	事業者健診の結果データの取得	委任状取得費（健診機関）	定型	共通
		データ作成等経費（健診機関・事業主）	定型	共通
		外部委託分等	課題	共通
	集団健診	—	課題	共通
	健診受診勧奨等経費	—	定型・課題	基礎
				重点
保健指導経費	医師謝金	—	定型	共通
	保健指導用データ等送料	—	定型	基礎
	保健指導用パンフレット作成等経費	—	定型	共通
	保健指導用事務用品費（測定用機器類等）	—	定型	基礎
	保健指導用図書購入費	—	定型	基礎
	公民館等における特定保健指導	—	定型	基礎
	保健師募集広告経費（支部）	—	定型	基礎
	保健指導利用勧奨経費	—	定型・課題	基礎
				重点
重症化予防事業経費	未治療者受診勧奨	—	課題	重点
	重症化予防対策	糖尿病性腎症	課題	重点
		その他の重症化予防	課題	
コラボヘルス事業経費	コラボヘルス事業	—	課題	重点
	情報提供ツール（事業所カルテ等）	—	定型	共通
その他の経費	その他の保健事業	—	定型・課題	重点
	保健事業実施計画アドバイザー経費	—	—	共通
	オプション健診	—	別枠	別枠
	健診・保健指導推進経費	—	別枠	別枠

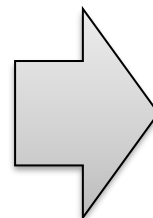
Ⅲ 令和9年度事業内容の検討について

1. 令和9年度事業内容の検討について（一覧）

●これまでの医療費分析等から分かった課題を解決するための事業について

〈令和8年度〉

	事業名	予算区分	
①	若年層における健康教育の実施	医療費適正化	通常枠
②	SNSを活用した医療費適正化広報 (糖尿病予防啓発・健診後の行動啓発)	医療費適正化	通常枠
③	喫煙・糖尿病対策事業	保健事業	通常枠



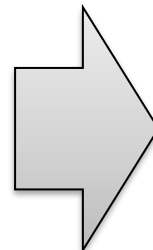
〈令和9年度〉

	予算区分	掲載頁
支部戦略予算	重点	P14
	重点	P15
	重点	P16

●その他の医療費適正化事業及び保健事業について

〈令和8年度〉

	事業名	予算区分	
④	乳幼児の保護者に対する適正受診啓発冊子の配布	医療費適正化	通常枠
⑤	ジェネリック医薬品使用促進及び バイオシミラー使用促進	医療費適正化	通常枠



〈令和9年度〉

	予算区分	掲載頁
支部戦略予算	重点	P17
	重点 共通	P18

⑥	健診及び特定保健指導の実施	保健事業	通常枠
⑦	重症化予防対策事業の実施	保健事業	通常枠
⑧	コラボヘルス(一社一健康宣言事業)の展開	保健事業	通常枠
⑨	学齢期における健康教育の推進	保健事業	通常枠

支部戦略予算	重点	共通	基礎	P19
	重点			P20
	重点	共通		P21
	重点			P22

2. 支部重点課題解決事業について

①若年層に対する健康教育の実施（重点）

令和4年度から実施している支部分析結果より、大分支部の糖尿病医療費は年々上昇しており、特に30～40代の伸び率が高いことが課題である。そこで、これから生活習慣の基盤を形成する若年層（高校・大学・専門学生及び新入社員）を対象とした健康教育を行い、生涯に渡り正しい生活習慣を身に付けてもらうことを目的とし事業を実施。

【実施状況（R8.9月末時点）】

- 新入社員向け出張講座
R5年度（19社実施） R6年度（13社実施） R7年度（13社実施）
R8年度（20社実施）
- 高校・大学・専門学生向け健康授業
R5年度（1校実施） R6年度（4校実施） R7年度（3校実施）
R8年度（1校実施、1校実施予定）
- 親子参加型食育イベントの開催（東部保健所・別府市と共催）
R5年度（13組の親子が参加） R6年度（23組の親子が参加）
R7年度（26組の親子が参加） R8年度（26組の親子が参加）
- その他
R6年度 杵築市主催の健康教育イベントにおける講話実施
R7年度 大分県本庁共催による親子参加型食育イベントを実施
R8年度 竹田市こどもフェスタにてブース参加予定

【令和9年度の事業の方向性について】

[ヘルスリテラシーの向上]の観点から引き続き取り組む

強化
ポイント

- 食育イベントについて、地域職域健康づくり協議会や国保運営協議会を通じてこれまでの事例紹介を行い、**未実施地域（市町村）での横展開の実施**

【新入社員向け出張講座案内チラシ】



【親子参加型食育イベントチラシ】



2. 支部重点課題解決事業について

②SNS等を活用した広報（重点）

SNSを活用し、大分支部の課題である糖尿病医療費の上昇抑制及び医療機関への受診勧奨通知を受け取った者の受診率向上につなげ、医療費適正化を図る。

【実施状況（R8.9月末時点）】

〈令和7年度〉

- 「糖尿病予防啓発広報」〈医療費適正化枠〉で実施
6種類の動画をYouTube広告で広報 視聴回数：744,553回
- 「健診受診後の行動（保健指導や二次健診の受診）の重要性を伝える啓発広報」〈医療費適正化枠〉で実施
2種類の動画をYouTube広告で広報 視聴回数：490,867回

〈令和8年度〉

- 令和5年度に作成した動画（糖尿病予防啓発動画 6種類 + 健診受診後の行動の重要性を伝える啓発 2種類）を使用する。また、YouTube広告での広報を実施し、「糖尿病予防啓発動画」の音声を用いたラジオ広告配信を新たに実施する。【YouTube広告：令和8年12月開始予定、ラジオ広告：令和8年12月中旬開始予定】

【令和9年度の事業の方向性】

[ヘルスリテラシーの向上]の観点から引き続き取り組む

- 令和6、7、8年度糖尿病医療費分析結果を踏まえ、課題となった地域に対し、よりメリハリをつけた効果的な広報の実施。
- 新規の動画作成に関してコンテンツの充実を図る。
- 令和8年度の効果検証を令和9年度の事業へ反映させる。

【糖尿病予防啓発動画周知チラシ】



【健診受診後の行動の重要性を伝える動画周知チラシ】



2. 支部重点課題解決事業について

③喫煙・糖尿病対策事業（重点）

令和5年度の業態別医療費分析より、一人当たり医療費が高い傾向にある総合工事業において、悪性新生物の医療費割合が同業態全国平均より高いことや、喫煙習慣がある人の割合が大分支部平均及び同業態平均と比べ高いことが分かったことから、同業態の喫煙対策をサポートするための事業を令和6年度より実施。また、令和6年度の医療費分析より、糖尿病の1人当たり医療費（外来）が他業種と比較して高いことや、道路貨物運送業及びその他の運輸業も同様の傾向であることが分かったことから、令和7年度から上記3業態に対して喫煙・糖尿病対策事業を実施。

【実施状況（R8.9月末時点）】

【令和7年度実施】

- 大分県内の総合工事業、道路貨物運送業、その他の運輸業（1,325社）へ「サービス案内チラシ」「禁煙支援ポスター及びリーフレット（2種）※」等を令和7年5月に発送（※）総合工事業は昨年度送付済みのためリーフレット1種のみ
 - 建設業協会、トラック協会、タクシー協会、バス協会との連携による広報及び業界新聞を活用した広報を実施。
- 出張講座：4件 DVDレンタル：5件
（出張講座のうち1件は、保健所・市役所・薬剤師会と連携して実施）

【令和8年度実施】●トラック協会、タクシー協会、バス協会との連携による広報

【令和9年度の事業の方向性】

【個人の特性に応じた支援】[重症化予防の拡充] [ヘルスリテラシーの向上]の観点から引き続き取り組む

- 【事業所向け】大分県と協働し、健康経営事業所認定事業と連携を図る。

強化
ポイント

- 【団体向け】関係団体（建設業協会、トラック協会、タクシー協会、バス協会）と連携し、業態分析に加えて、職種の実態分析を行い、被用者保険だからこそできるような職業実態を踏まえた対策を検討する。
- 【加入者・個人向け】地域職域（保健所・市役所）や薬剤師会等と連携した事業を図る。

【情報提供書】



【サービス案内チラシ】

職場の健康づくり支援・各種サービスのご案内

①出張講座（たばこ関連）
協会けんぽより保健師を派遣し、現場をとおしての生活習慣を改善するための講座を実施します。

②DVDレンタル **無料**
喫煙習慣の改善をお役立ていただけるDVDをご用意しております。

③その他の支援 **無料**
「職場の健康づくり」支援として、
●出張講座
●DVDレンタル
●リーフレット等の提供
●その他ご相談・情報提供等

④【大分県】禁煙サポート事業
大分県が事業所向けに実施している「禁煙サポート事業」をご紹介します。

1週間程度レンタル可能です！

10/1～7は全国労働衛生週間です。
期間中に実施する安全衛生大会等や、準備期間（9/1～30）における各種研修や啓発活動での活用もおすすめです。

今回の情報を協会けんぽ大分支部のホームページにも掲載しております。
事業所内の周知・情報提供にぜひお役立てください。

【お問い合わせ先】
全国健康保険協会（協会けんぽ）大分支部 企画総務グループ
☎（代）097-573-5630（自動音声案内あり）

【お問い合わせ先】
大分県 健康増進室 ☎ 097-506-2664
（健康増進課 大分県健康増進センター）

【お問い合わせ先】
大分県 健康増進室 ☎ 097-506-2664
（健康増進課 大分県健康増進センター）

2. 支部重点課題解決事業について

④乳幼児の保護者に対する適正受診啓発冊子の配布（重点）

乳幼児の保護者となった被保険者へ、子供が病気やケガをした際の適切な対処方法を情報提供することで乳幼児の適正受診を促進する。

【乳幼児適正受診啓発冊子】

【実施状況（R 8.9月末時点）】

- 令和7年度：2,139件送付
- 令和8年度：R 8.11月より順次発送予定

【令和9年度の事業の方向性】

[ヘルスリテラシーの向上] [医療費の適正化]の観点から引き続き取り組む



強化
ポイント

- アンケート調査では、「緊急時の対応方法がわかりやすく書かれていたので、いざという時に役立てられるようしっかり読み込みたい」、「病院へ行かずに家で様子をみたり実際に病院に行かずに済んだ」などと回答があり、医療費適正化に資する取組として継続実施する。
- 動画版の作成等、新たなコンテンツの作成を検討する。
- 大分県や関係団体等と連携し、地域の特性や医療供給体制に合わせた情報発信の実施を検討する。

2. 支部重点課題解決事業について

⑤ジェネリック医薬品使用促進及びバイオシミラー使用促進（重点）

【実施状況】

- ジェネリック医薬品使用割合：90.2%（数量ベース）（全国30位）（令和7年度末時点）
 ：67.4%（金額ベース）（全国16位）（令和7年4月診療分）
 県内医療機関にジェネリック医薬品に関するお知らせ（見える化ツール）を送付
 ●医療機関（55件）、調剤薬局（23件）を送付

大分トリニータマッチデープログラム※1への広告掲載及び 試合当日の会場ブースにてジェネリック医薬品希望シールの配布※2 （トリニータホームゲームで発刊される情報誌への広告掲載）

- ※1 令和7年度よりデジタルマッチデープログラムとしてホームページ上に掲載
 ※2 大分県県民健康増進課と連携し、県民DAYに合わせて試合会場にてブースを出展

- 令和7年度：8/2（土） 対 FC今治（県民DAY開催）
 3/8（日） 対鹿児島ユナイテッド
 3/21（土） FC琉球戦
- 令和8年度：8/8（土） 対湘南ベルマーレ
 8/22（土） 対いわきFC
 9/6（日） FC今治（県民DAY開催）
 9/26（土） 藤枝MYFC

バイオシミラー使用促進に向けた医療機関訪問（令和8年1月以降）

- バイオ先行品の使用実績の多い医療機関や公営医療機関等へ訪問を実施（大分県内8機関）

【令和9年度の事業の方向性】

[医療費の適正化]の観点から引き続き取り組む

- ジェネリック医薬品における金額ベースのシェア拡大に向けて医療機関訪問件数の拡大によるバイオシミラー使用促進事業の一層の推進
- 大分トリニータや大分県、大分県薬剤師会と連携した、事業に関する発信力の強化

【マッチデープログラム掲載広告】

2. 支部重点課題解決事業について

⑥ 健診および特定保健指導への取り組み（重点・共通・基礎）

【令和7年度実施結果】

実施項目		実施率	全国順位
健診	生活習慣病予防健診受診率（被保険者）	68.4%	8位
	事業者健診データ取得率（被保険者）	7.9%	23位
	特定健診受診率（被扶養者）	33.1%	9位
保健指導	特定保健指導実施率（被保険者）	35.3%	7位
	特定保健指導実施率（被扶養者）	19.7%	20位

【令和8年度取り組み状況】

従来の取り組みに加え、以下の取り組みを実施

●生活習慣病予防健診

令和8年度より人間ドック健診および若年者への健診が追加されたことに伴い、各種広報媒体で周知

●特定保健指導

「健康宣言事業所」のうち対象者数が多く、受入率が低い事業所に対し、訪問による受入勧奨を実施

【令和9年度の事業の方向性】

[健診の拡充][特定保健指導の量・質の向上]の観点から引き続き取り組む

●生活習慣病予防健診等

人間ドック健診、若年者への健診を周知するとともに、利用勧奨（文書・電話・訪問）を実施し、受診率を向上させる。

強化
ポイント

●特定健診

被保険者と同様の健診（生活習慣病予防健診等）が受診できるようになったことに対する各種広報媒体での周知について

●保健指導

特定保健指導を委託している健診機関に対し、訪問により健診当日の保健指導利用機会の拡大について等の実施率向上に向けた働きかけを行う。

【生活習慣病予防健診広報】

事業主様

全国健康保険協会大分支部

令和8年度 健診のご案内

平素より全国健康保険協会（協会けんぽ）の事業運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和8年度より、協会けんぽの健診内容が大きく変わります。従業員の皆さまが、より利用しやすい健診へと進化しました。ぜひ、皆さまへのご案内・受診勧奨にご活用ください。



【主な変更点】

◆対象年齢が広がります

これまでの一般健診対象年齢の「35歳以上」に加えて、**20歳、25歳、30歳**の被保険者の方も健診の補助が受けられるようになります。

→若い世代からの「早めの気づき」が将来のリスク軽減につながります。

◆付加健診が「節目健診」になります

健診を受けていない40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳および70歳の被保険者の方が対象です。

→令和7年度までの「付加健診」は、一般健診に追加する健診でしたが、

令和8年度からは、一体型の独立した健診として実施されます。

◆人間ドック健診に25,000円の補助

35歳以上の被保険者の方が対象です。※年度内に一般健診・節目健診を受けていない方で、協会けんぽの人間ドック健診として申し込まれた方に限ります。

→より詳しい健診を希望する方が受診しやすくなります。

◆女性の健診がさらに充実

乳がん・子宮頸がん検診に加え、「骨粗鬆症検診」が追加されます。※40歳以上の偶数年齢の女性

→「骨粗鬆症」の早期発見につながります。

◆喫煙者には、喀痰細胞診が追加（一般健診・節目健診）

タバコを吸う方には、肺がんリスクを調べる検査が追加されます。※問診の結果、50歳以上で喫煙指数（1日本数×年数）が600以上の希望者が受けられます。

→自分では気づきにくい病気の「早めの気づき」に役立ちます。

2. 支部重点課題解決事業について

⑦重症化予防対策への取り組み（重点）

【実施結果】

要治療・要精密者の健診受診月から10か月以内の医療機関受診率

実績年度	大分支部実績(受診率)	全国平均受診率	大分支部全国順位
令和6年	37.4%	33.9%	9位
令和7年	38.4%	34.2%	4位

【令和8年度取り組み状況】

●医療機関未受診者への受診勧奨

健診の結果、血圧値・血糖値・LDLコレステロール値が要治療・要精密検査と判定され、医療機関への受診が確認できていない方へ文書による受診勧奨を実施
(1次勧奨：協会本部にて実施 2次勧奨：大分支部にて実施)

●医療機関を受診しやすい環境・体制づくりの取り組み

- ・健診機関による健診当日の受診勧奨の実施（健診機関との連携強化）
- ・大分労働局と連名で事業主に対し健診後の事後フォローの重要性を周知するための文書を送付
- ・大分支部広報媒体による広報（全加入事業所配布広報誌「協会けんぽニュース大分」等で掲載）

●その他の重症化予防への取り組み

- ・大分市と連携した慢性腎臓病（CKD）対策の実施（広報、啓発、受診勧奨等）
- ・糖尿病性腎症（2期、3期）該当者への医療機関受診勧奨を実施
- ・若年層への健康教育（ヘルスリテラシー向上）への取り組み（P14参照）

【令和9年度の事業の方向性】

[重症化予防の拡充]の観点から引き続き取り組む

強化
ポイント

- 未治療者に対し、血圧、血糖、脂質の結果に基づき、速やかな受診へ行動変容を促す通知文書等を送付する。
- 生活習慣病予防健診当日に、健診結果から要精密検査・要治療と判断された受診者に対し、健診機関からの受診勧奨を実施する。

【医療機関受診勧奨広報】

協会けんぽニュース
おおいだ 2026年 8月号
社内で回覧・掲示をお願いします。

健診結果で「要治療」「要精密検査」と判定され
まだ医療機関で受診されていない方へ

協会けんぽでは、血圧値・血糖値・LDLコレステロール値、胸部エックス線検査の結果が「要治療」「要精密検査」と判定され、医療機関への受診が確認できない方へ、右図のお知らせをお送りしています。

受診勧奨の対象となる方①～③のすべてに該当する方
もしくは④に該当する方

①生活習慣病予防健診・特定健診・事業者健診（健診データを取得した者）を受診した方
②以下の受診勧奨基準のうち、いずれか1つでも該当する方

血 圧	血 糖	脂 質
収縮期血圧 160mmHg 以上	空腹時血糖 126mg/dL 以上	LDLコレステロール 180mg/dL 以上
拡張期血圧 100mmHg 以上	HbA1c (NGSP法) 6.5% 以上	

③健診受診前1か月～健診受診後3か月の間（健診受診月を含む）に医療機関への受診が確認できない方
④生活習慣病予防健診において胸部X線検査の結果、「要治療」「要精密検査」と判定された方

事業主様へのお願い

「要治療」「要精密検査」と判定された方がいた場合は、事業主様からも対象の方へ早めの医療機関受診を促してください。

対象の方が医療機関を受診しやすい環境の整備づくりにご配慮いただきますようよろしくお願いします。

大分支部では、医療機関の受診が必要と判定されながら、受診をされていない方に対し、文書による受診勧奨を以下の専門機関に委託して実施しています。

株式会社アールエムサポート
愛知県名古屋市中区数島町38 黒川フロントビル3F
電話番号 0120-513-010(平日・土曜日 9:00～18:00)

2. 支部重点課題解決事業について

⑧コラボヘルス（一社一健康宣言事業）の展開への取り組み（重点）

【実施状況（R8.9月末時点）】

- エントリー事業所の拡大及び宣言内容の標準化
エントリー事業所数：2,417社
- 宣言事業所へのサポート
 - ・ 健康経営を始める上でのスタート支援、大分県や経済産業省の認定をサポートする
認定支援、事業所のニーズに応じた健康講話の実施
【R6年度：13社、R7年度：8社、R8年度：5社】
 - ・ 事業所の健康課題を見える化した事業所健康診断シートを送付（10月）
 - ・ 健康情報誌「四季の報」の提供（7,1月）
 - ・ 広報誌「一社一健康だより」の配布（7,10,1,3月）
→10月・1月・3月号で認定事業所の取組好事例を紹介
 - ・ 健康機器（血管年齢測定器・骨健康測定器）レンタル（9月）
【R6年度：195社、R7年度：202社、R8年度：230社】

【令和9年度の事業の方向性】

【医療費の適正化】の観点から引き続き取り組む

- 事業開始から10年を経過し、共同で実施している大分県とのさらなる連携を強化する
- エントリー事業所の健康経営をサポートするための方策を充実・拡大し、事業主への効果的で効率的なアプローチを図る
- 認定事業所における取組好事例を収集し、広く周知するためのコンテンツの検討について

【健康機器レンタルの申込案内】

一社一健康宣言事業所様限定特典

健康測定機器レンタルのご案内

「血管年齢測定器」
「骨健康度測定器」
「体組成計」
「野菜摂取量測定器」

【申込期限】
令和8年8月28日（金）

いずれか1台を無料でレンタルできます！
※送料も無料

レンタル予定数 各50社（計200社を先着順）
※1事業所につき1台、年度内1回の貸出です。

対象期間 令和8年9月7日（月）～令和9年3月26日（金）まで

利用期間 月曜日機器到着～金曜日返却の最大5日間

お申込みはカンタン！「申込書」を提出するだけ！（先着順）
裏面の「申込書」をご記入の上、FAXまたは郵送でご提出ください！

レンタルの流れ

- ① 協会けんぽへ申し込み（FAXか郵送）
- ② 協会けんぽから利用日をお知らせ
- ③ 【月曜日】（利用開始日）レンタル業者から機器の到着
- ④ 【金曜日】（返却開始日）レンタル業者へ機器の発送

・ 食生活を振り返り、考えるきっかけとなった人が増えました。
・ 社員で楽しく会話をしながら測定できて良かったです！

協会けんぽ 平870-8570 大分市金池南1-5-1 JCOMビル4F大分（MNOタウン2階）
全国健康保険協会 大分支部 企画総務グループ 電話 097-870-8630

2. 支部重点課題解決事業について

⑨学齢期における健康教育の推進（重点）

【実施状況（R8.9月末時点）】

【令和7年度】

●関係団体（県・市教委・市役所・保健所）へ訪問し健康教育の推進事業に係る説明を実施

- ・大分県教育庁（大分県教育委員会）・大分市教育委員会
- ・豊後大野市教育委員会・豊後大野市役所市長
- ・臼杵市教育委員会・臼杵市役所市長
- ・津久見市教育委員会
- ・日田市役所市長
- ・東部保健所・別府市役所

●健康教育資材の提供 年度累計：7,320部配布

- ・大分県庁：40部（親子イベント：7月）・大分市100部：（10月）
- ・別府市：50部（保体部イベント：1月）
- ・津久見市：530部（5月）
- ・豊後大野市：1,000部（8月）
- ・臼杵市400部（10月）
- ・別大ウォーキング300部（2月）
- ・社会保険協会説明会300部（1.2月）
- ・薬剤師会脈の日のイベント100部：（3月）
- ・けんぽ委員だより4500部：（3月）

【健康教育資材】



【令和8年度】

●関係団体（県・市教委・市役所・保健所）へ訪問し健康教育の推進事業に係る説明を実施予定
大分トリニータのキャラクター掲載について調整中

【令和9年度の事業の方向性】

[医療費の適正化]の観点から引き続き実施

強化
ポイント

- 地域の実情に応じて地域自治体や教育委員会等と引き続き連携しつつ、教育現場以外においても各種イベントや関連団体等と連携し、SDG s の視点も踏まえ、小学生等への健康教育に取り組む。